

1. 基本情報

評価対象年度 (令和4 年度)

施策コード	422	施策名	ごみ減量化・再資源化の推進
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	42	豊かな自然と調和した環境にやさしいまち	
担当部	市民環境部	担当課	環境課

2. 施策の方向

10年後の姿	市民・事業者・市が一体となったごみ処理体制により、ごみの減量化・再資源化が推進されています。また、市民の環境美化に対する意識が高まっています。		
施策の方向性	1	多摩地域における最小ごみ発生量をめざします	
	2	ごみを適正に収集・処理します	
	3	新しい分別品目の再資源化に対応し、資源の有効活用を進めます	
	4	市民・事業者・市が連携・協力し、うるおいとやすらぎのある生活環境の維持に努めます	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
ごみ収集・処分等作業事業	2	環境課	511,930
環境整備事業	1,3,4	環境課	69,309
総事業費(施策の合計)			581,239

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	1人1日当たりの全ごみ排出量(可燃・不燃・粗大・有害ごみ)		目標値	399	408	402	396	389
	説明	—	単位 g	実績値	398	387			
	抽出方法	柳泉園組合資料		達成率	100.3%	105.4%			
②	名称	1人1日当たりの可燃ごみ排出量		目標値	347	346	340	335	329
	説明	—	単位 g	実績値	344	333			
	抽出方法	柳泉園組合資料		達成率	100.9%	103.9%			
③	名称	日頃からごみの量を減らすことやリサイクルに取り組んでいる人の割合		目標値	75.0	75.0	80.0	80.0	80.0
	説明	—	単位 %	実績値	74.9(※)	74.9(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	99.9%	99.9%			

※③抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度に改定した一般廃棄物処理基本計画に則り、市民や事業者と連携してごみの減量化や資源化、適正処理を推進した。 ●1人1日当たりの全ごみ排出量及び1人1日当たりの可燃ごみ排出量について、まちづくり指標を概ね達成した。 ●不適切に排出した排出者に対して、直接的な指導や注意喚起を実施するなど、分別推進に取り組んだ。 ●生ごみ減量化処理機器設置補助金により、市民の可燃ごみの減量の取組みを支援した。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	特になし
-------------	------

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	コロナ禍による生活様式の変化等により、粗大ごみが増加傾向となっている。
	課題に対する令和6年度以降の取組	「捨てるという概念を捨てる」意識を高め、誰でも無理なくできるリユースする環境意識の醸成を図る取り組みを推進する。
②	施策を進める上での課題	戸別収集の実施により、市民の分別等の意識が向上しているものの、適切な分別がなされていないごみが排出されている。
	課題に対する令和6年度以降の取組	市報やホームページ、出前講座や環境学習、イベント及び環境課への問い合わせ等、あらゆる機会を通じてごみ分別アプリを周知し、利用を促すことで、市民のごみ分別に関する知識及び意識向上を図る。